

これらの方々も殆どが「因果関係は不明」として扱われ、治療費も全て自己負担となっています。重篤な後遺症で仕事ができなくなったり、介護が必要になり家族まで仕事を辞めることになっても補償されない方はどうしたらいいのでしょうか。

接種後に死亡した方や、重篤な副反応や後遺症で苦しんでいる方の中には、基礎疾患の無かった方や、お元気だったお年寄り、20歳未満の子どもたちも含まれます。

20歳未満の新型コロナウイルスによる死亡者は4名で重篤者は6名とされていますが、死亡者4名のうち3名は重度の基礎疾患が直接の死因で、1名は事故死です。対して、コロナワクチンによる20歳未満の死亡者は5人、重篤者は398人にも上ります。(2022年2月15日厚生労働省発表) 子どもたちにワクチンは必要ですか？

メディアがこういった一連の事実をほとんど報道せず「コロナは怖い、ワクチンは安全」というイメージを放送し続けているのは、なぜでしょうか。

政府も「デメリットよりもメリットが上回る」と言いますが、本当でしょうか。

ところで、日本のみならず、世界中の政府やメディアが「驚異のウイルスだ！緊急事態だ！」と騒ぎ立てる中、私たちは促されるがままに、感染症対策を毎日続けてきました。今までやったことのない「常時マスク着用」や「検温チェック」「消毒の徹底」「三密回避」「会食や人の移動の制限」「経済活動の自粛」等々。

特に「マスクの着用」についてですが、医療用のサージカルマスクを着用したとしても、マスクの網目はウイルスよりはるかに大きく侵入を防ぐことはできません。健康で無症状の人が「マスクをすることで、コロナウイルスの感染を予防できる」という科学的根拠は、今のところどこにもありません。対して、世界中で多くの医師や専門家が「マスクの常時着用による健康被害」に警鐘を鳴らしています。

一日中マスクをして呼吸をするということは、自分の吐いた二酸化炭素を吸い続けることになり、軽い「酸欠状態」を引き起こすそうです。実際、マスクの常時着用により、「頭痛、吐き気、めまい」などの症状を訴える方が増えてきています。

特に子どもにとっては「脳の発達にも悪影響が出る」という研究結果が出ており、「集中力や認知能力の低下」なども気がかりです。また、マスクで表情が読み取れない大人やお友達に囲まれて、子どもたちの心や言葉の発達は大丈夫でしょうか。